

大分県立看護科学大学 教育成果の公表情報

本学では、卒業までに身につける能力(ディプロマポリシー:DP)がどのくらい身についたか、各学年の年度末に学生自身で振り返る時間を設けています。DPの到達度をもとに一年間の学びを振り返り、次の学年の目標を確認します。

ディプロマポリシーの到達度評価 回答は、4:身についた、3:ほぼ身についた、2:少し身についた、1:身につけていないorわからない の4段階で評価します。

1) 2023年度 2年次生

下記の表はDPの小項目ごとに学生が自分の能力としてどれくらい身についたのか4段階で自己評価した個人の評価点をもとに学年全員の平均を算出した結果を示しています。また、学生個人が小項目ごとに自己評価した点数をもとに、学年全員の大項目ごとの平均を示しています。

2年次生が、現時点で最も身についたと実感しているのは、DP1「心豊かな人間性・倫理観」でした。

1年次生の時と比較して身についた能力はDP1「心豊かな人間性・倫理観」、DP2「科学的思考力」、DP4「連携協働・リーダーシップ」、DP5「地域性・国際性」でした。

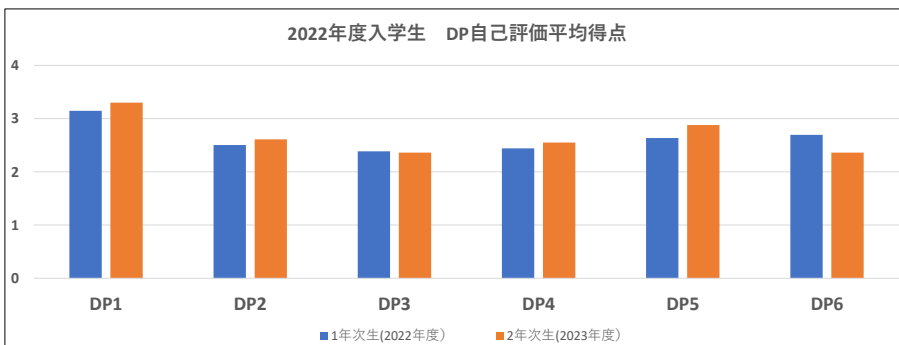
次年度以降、看護専門領域科目の講義・演習・実習により、DP3「看護の基盤となる専門知識・技能」のさらなるレベルアップが期待されます。

DP 大項目	DP 中項目	DP 小項目	1年次生(2022年度)87名の平均点		2年次生(2023年度)84名の平均点	
			平均点	標準偏差	平均点	標準偏差
DP1	心豊かな人間性・倫理観	(1)看護の対象となる人々に深い関心を持つ姿勢 (2)看護の対象となる人々に共感的に関わる姿勢	3.4 3.1	3.15	3.4 3.3	3.30
		(1)人間の尊厳と権利を擁護できる倫理観 (2)人々を尊重する態度で行動できる	3.0 3.1		3.2 3.4	
DP2	科学的思考力	1)細胞レベルの「ヒト」、1人の個体としての「人」、人間関係や社会の中で生きる「人間」を、包括的に理解するための知識を備えている	2.6	2.50	2.8	2.61
		2)本質を追求するための姿勢を身につけ、現象を科学的にとらえ分析的、総合的に考察できる力を備えている	2.6 2.4		2.8 2.4	
		3)論理的な思考に基づいて、課題を解決する力を備えている	2.4		2.5	
DP3	看護の基盤となる専門知識・技能	1)看護を遂行するための幅広い知識、原理原則に基づいた基本的な看護技術を修得し、対象者のニーズに合わせて応用できる	2.5 2.5	2.39	2.5 2.6	2.36
		2)人々の健康の保持増進、疾病予防・回復の促進のために必要な看護を指導のもとに実施できる	2.2 2.3		2.2 2.3	
		3)自分の看護観を述べる能力	2.4		2.2	
DP4	連携協働・リーダーシップ	1)保健・医療・福祉チームの一員として連携協働の必要性を理解できる	3.0	2.44	3.2	2.55
		2)マネジメントの知識を持ち、多様な職種や人々と連携・協働する基礎的な能力を備える	2.1 2.3		2.1 2.2	
		3)組織やチームの一員として活動する力を備え、リーダーシップをとれる	2.7 2.1		3.0 2.2	
DP5	地域性・国際性	1)地域の環境が人々の生活や健康に及ぼす影響を理解し、看護の在り方を考えることができる	2.9 2.8	2.64	3.4 3.3	2.88
		2)多様な文化・言語・社会的背景をもつ人々の価値観を尊重しながらコミュニケーションを図る力を備えている	2.8 2.5		3.2 2.8	
		3)地域や国際社会の健康課題とその背景に関心を持ち、多様な場で看護を展開する素地を持つ	2.7 2.1		2.9 1.8	
DP6	探求心と創造力	1)看護専門職者の自覚を持ち、看護の本質へ高い関心と専門性探求の意欲を持つことができる	3.1 3.1 2.9	2.69	3.0 2.6 2.7	2.36
		2)指導の下で看護の質の向上に資する一連の研究過程を理解し、研究を実施できる	2.2 2.0		1.6 1.5	
		3)看護活動とケアの質改善に関心を持つことができる	2.9		2.6	

回答の選択数 4. 身についた 3. ほぼ身についた 2. 少し身についた 1. 身につけていない or 変わらない

2022年度回答数 87名 (回答率100%)

2023年度回答数 84名 (回答率99%)



大分県立看護科学大学 教育成果の公表情報

ディプロマポリシーの到達度評価

2) 2023年度 1年次生

下記の表はDPの小項目ごとに学生が自分の能力としてどれくらい身についたのか4段階で自己評価した個人の評価点をもとに学年全員の平均を算出した結果を示しています。

また、学生個人が小項目ごとに自己評価した点数をもとに、学年全員の大項目ごとの平均を示しています。

1年次生が現時点で最も身についたと実感しているのは、DP1「心豊かな人間性・倫理観」でした。

次年度以降、DP4「連携協働・リーダーシップ」、DP5「地域性・国際性」、DP6「探求心と創造力」のさらなるレベルアップが期待されます。

DP 大項目	DP 中項目	DP 小項目	1年次生(2023年度) 79名の平均点	
			平均点	標準偏差
DP1 心豊かな人間性・倫理観	1)看護の対象となる人々に深い関心を持ち、共感的に関わる姿勢を身につけている 2)人間の尊厳と権利を擁護できる倫理観を備え、人々を尊重する態度で行動できる	(1)看護の対象となる人々に深い関心を持つ姿勢	2.7	2.59
		(2)看護の対象となる人々に共感的に関わる姿勢	2.6	
		(1)人間の尊厳と権利を擁護できる倫理観	2.3	
		(2)人々を尊重する態度で行動する能力	2.7	
DP2 科学的思考力	1)細胞レベルの「ヒト」、1人の個体としての「人」、人間関係や社会の中で生きる「人間」を、包括的に理解するための知識を備えている 2)本質を追求するための姿勢を身につけ、現象を科学的にとらえ分析的、総合的に考察できる力を備えている 3)論理的な思考に基づいて、課題を解決する力を備えている	(1)「ヒト」「人」「人間」を包括的に理解するための知識	2.3	2.06
		(1)本質を追求するための姿勢	2.2	
		(2)現象を科学的にとらえ分析的、総合的に考察できる能力	1.8	
		(1)論理的な思考に基づいて、課題を解決する能力	2.0	
DP3 看護の基盤となる専門知識・技能	1)看護を遂行するための幅広い知識、原理原則に基づいた基本的な看護技術を修得し、対象者のニーズに合わせて応用できる 2)人々の健康の保持増進、疾病予防・回復の促進のために必要な看護を指導のもとに実施できる 3)自分の看護観を述べることができる	(1)看護を遂行するための幅広い知識	2.3	2.20
		(2)原理原則に基づいた基本的な看護技術	2.4	
		(3)対象者のニーズに合わせて看護技術を応用できる能力	2.0	
		(1)人々の健康の保持増進、疾病予防・回復の促進のために必要な看護を指導のもとに実施できる能力	2.1	
DP4 連携協働・リーダーシップ	1)保健・医療・福祉チームの一員として連携協働の必要性を理解できる 2)マネジメントの知識を持ち、多様な職種や人々と連携・協働する基礎的な能力を備える 3)組織やチームの一員として活動する力を備え、リーダーシップをとれる	(1)保健・医療・福祉チームの一員として連携協働の必要性を理解できる能力	2.7	1.92
		(1)マネジメントの知識	1.4	
		(2)多様な職種や人々と連携・協働する基礎的な能力	1.7	
		(1)組織やチームの一員として活動する能力	2.3	
DP5 地域性・国際性	1)地域の環境が人々の生活や健康に及ぼす影響を理解し、看護の在り方を考えることができる 2)多様な文化・言語・社会的背景をもつ人々の価値観を尊重しながらコミュニケーションを図る力を備えている 3)地域や国際社会の健康課題とその背景に関心を持ち、多様な場で看護を展開する素地を持つ	(1)地域の環境が人々の生活や健康に及ぼす影響を理解できる能力	2.5	2.08
		(2)地域における看護の在り方を考える能力	2.1	
		(1)多様な文化・言語・社会的背景をもつ人々の価値観を尊重する能力	2.4	
		(2)多様な文化・言語・社会的背景をもつ人々の価値観を尊重しながらコミュニケーションを図る能力	2.0	
DP6 探求心と創造力	1)看護専門職者の自覚を持ち、看護の本質への高い関心と専門性探求の意欲を持つことができる 2)指導の下で看護の質の向上に資する一連の研究過程を理解し、研究を実施できる 3)看護活動とケアの質改善に関心を持つことができる	(1)看護専門職者としての自覚	2.5	1.98
		(2)看護の本質へ関心を持つ姿勢	2.3	
		(3)看護の専門性探求の意欲を持つ姿勢	2.1	
		(1)看護の質の向上に資する一連の研究過程を理解できる能力	1.5	
		(2)指導の下で研究を実施できる能力	1.3	
		(1)看護活動とケアの質改善に関心を持つ姿勢	2.2	

回答の選択肢 4. 身についた 3. ほぼ身についた 2. 少し身についた 1. 身につけていない or 変わらない

2023年度回答数 79名 (回答率 96%)

